

長梅外 ちやうばい 儒者。文化七年四月六日豊後國白田郡合田村生れ、明治十八年十月二十八日歿（二二〇一八五）。講允文、字世文。別稱長允、別號南梁、梅外仙史、棟外。營業のりち廣瀬淡窓の成宜園に學ぶ。安政二年成園塾舎を開いて子弟を教授。その後長男三洲の筆擧運動により一家進捗を受け、長州に逃れて藩塾教授となる。維新後上京、斯文會を興しり。

著書『詩書評釋拾遺』（明治十六年四月梅外書屋藏版）、『在瀛録』

（明治十七年一月以文會友社。再刊・二十四年十二月二十日雅正吟社）等。